

4月2日から旅券（パスポート）の申請窓口が変わります。

県からの権限移譲により、これまで県庁や上益城地域振興局で行っていた旅券（パスポート）の申請・交付窓口が山都町役場浜町事務所へ変わります。
 ※県庁・振興局での手続きは原則できなくなります。
 ※清和総合支所、蘇陽総合支所では申請・交付ができません。



- 対象者
山都町に住民登録をしている人、または居所がある人
- 取扱日・時間

窓 口	旅券申請受付時間	旅券交付時間	交付までの所用日数
住民環境課 戸籍住民係 (浜町事務所)	月～金曜日 午前9時～午後4時30分	月～金曜日 午前9時～午後5時	最短で11日間

※いずれも閉庁日（土・日曜日、祝日、年末年始）を除く。

●一般旅券手数料

有効期間	申請時の年齢	収入印紙	県収入証紙	合 計
10年	20歳以上	14,000円	2,000円	16,000円
5年	12歳以上	9,000円	2,000円	11,000円
5年	12歳未満	4,000円	2,000円	6,000円

※手数料は、交付時に必要となります。

●収入印紙・県収入証紙の販売場所

※収入印紙は、郵便局又は販売店、熊本県収入証紙は、山都警察署でご購入ください。

●申請方法

- ①一般旅券発給申請書 1通
- ②戸籍謄(抄)本(発行から6ヶ月以内のもの)1通
- ③住民票…1通(山都町に住民登録している人は省略できます)
- ④旅券用写真(6ヶ月以内に撮影したもの)1枚
(縦4.5cm×横3.5cm)

- ⑤本人確認書類(運転免許証など)
- ⑥前回取得した旅券がある場合は、その旅券
※旅券の紛失・焼失・損傷・記載事項訂正などの場合は、事前にお問い合わせください。

●問い合わせ先
住民環境課 戸籍住民係 (72-1172)

町長室から

甲斐 利幸

今年の冬は、例年になく、寒さ厳しく、小春日和を見ることがありませんでした。北国では豪雪が続き、春が遅れそうです。昨年の東日本大震災と絡めて、天変地異を懸念します。相変わらず日本の経済は低迷を続け、政治も混沌の闇から抜け出せずにいます。こうしたときにこそ、自己の確立が特に必要です。悲観は未来を塞ぎます。自らの価値観を今一度確認すべき時です。

少産化・非婚・晩婚による少子化が著しく、蘇陽の大野・菅尾・馬見原の3小学校が、3月末で閉校となりました。蘇陽高校に続き、学校の姿が地域から消えてしまうのは寂しく、残念でなりません。学校はその地域にあって、地域活動の拠点でもあり、賑わいの象徴施設でもあります。校庭での児童・生徒たちの歓声や躍動は、膨らむ未来を象徴するものです。

閉校式に臨み、各学校とも地域との絆の濃さを実感しまし

た。それが学校の勢いの糧となっていました。

3つの小学校は、4月から校名を「蘇陽南小学校」として新しく発足します。「ジャレた町」と若山牧水が旅日記に書き留めた馬見原で、瀟洒(しょうしゃ)な姿の校舎は、必ずや新しい伝統を紡ぎ、山都町の大らかで人間性豊かな、煌めく、逞しい子どもたちを育むものと期待しています。

3月議会が終わり、平成24年度の予算が議決されました。引き続き積極的な大型予算となりました。庁舎の建築費も25年度完成を見込むものとなりました。蘇陽病院は、8月末に完成させ、11月には、歯科を統合し、人口透析設備を備えた、一層頼れる病院をスタートさせます。

子育て支援のため、中学校までの医療費を無料化します。特別養護老人ホーム2施設が開設され、JAかみましが有料老人ホームを設けます。矢部広域病院が、耐震構造でリニューアルします。さらに、県のドクターヘリ運航開始などが拡充されています。

明治時代に、3校から始まった地域の教育の伝統を、ひとつに

蘇陽南小学校 4月に開校

明治5年の学制頒布により、明治7年に柳井小学校が、明治8年に馬見原小学校と菅学校が開校されました。

その後、明治22年の市町村制施行や教育基本法の制定、そして昭和31年の蘇陽町誕生など幾多の変遷を経て現在の大野・菅尾・馬見原の小学校があります。

その永い時の流れの中で、地域が、子どもたちの教育に向けてきた熱意と温かいまなざしは変わることはありませんでした。各校、各地域の特色が、親から子へ、子から孫へ「伝統」として伝えられてきました。

3校の閉校は終わりではありません。4月に開校する「蘇陽南小学校」は、3校の伝統を受け継ぎ、新たに山都町の子どもを育てることになります。まさに「伝統」のスタート地点に立っています。

閉校する3校の伝統を大切に活かし、未来に向かう子どもたちとともに歩き始めましょう。

山都町立蘇陽南小学校 校歌

井手公二先生(蘇陽中学校校長)作詞・作曲

- 一 新緑(みどり)映える大阿蘇の 丘に広がる知保の郷
響く歌声未来へとどけ 明るく元気にたくましく
誇り高き夢を持ち 生きる翼広げて
蘇陽 蘇陽 南小 いのち育む
- 二 やまめ泳ぐ五ヶ瀬川 清く流れる知保の郷
熱き誇りを心に掲げ 明るく元気にたくましく
希望(のぞみ)高く学ぶため 生きる翼広げて
蘇陽 蘇陽 南小 叡智(えいち)育む
- 三 紅葉(もみじ)あざやか蘇陽峡 そよぐそよ風知保の郷
歴史新たに紡ぐ(つむぐ)学舎(まなびや) 仲良くすなおにのびのびと
絆(きずな)永遠(とわ)につなぐため 生きる翼広げて
蘇陽 蘇陽 南小 こころ育む



(蘇陽南小学校の校章) 甲斐慶一氏監修



馬見原小学校校舎が4月から蘇陽南小学校の校舎になります。